

かまいしこうざんたなかせいてつしよくりはしぶんこうじょうあと

## 釜石鉱山田中製鐵所栗橋分工場跡

指定種別：市指定文化財

指 定 日：平成 25 年 12 月 24 日

所 在 地：釜石市橋野町

制 作 年：明治 25(1892)年着工、  
明治 27(1894)年操業開始



稼働中の栗橋分工場

釜石鉱山田中製鐵所栗橋分工場は、陸海軍弾丸材として釜石銑鉄の需要が多量となったため、田中製鐵所の第7高炉として建設されました。明治 25(1892)年に工事を着工し、明治 27(1894)年に操業を開始し、他の高炉がコークスにより操業していたのに対し、唯一木炭高炉として操業していました。創業時は日産 8t でしたが、明治 35(1902)年に改造され、木炭吹製のままで日産 15t となりました。第一次世界大戦後の恐慌や軍備縮小などが原因となり、大正 10(1921)年 2 月休止となりました。

現在沢檜川沿いに当時の石垣や水車場跡などが残っており、山手には山神社や火薬庫跡があります。

